

栗林公園と高松のうどん

(株)第一コンサルタンツ 右城 猛

まえがき

今年のシルバーウィークは、敬老の日(9月の第3月曜日)が21日になり、秋分の日との間に挟まれた22日が国民の休日となったので、土曜と日曜日を加えると5連休になった。シルバーウィークとは、9月の大型連休のことで、今年からこのように呼ばれることになったようである。

今年のシルバーウィークは「馬路おしどりマラソン」へ参加する意外に何も予定していなかったもので、10月に東京へ転勤となる娘夫婦に誘われて、家内の運転で家を8時に出発して高松へ行った。

目的は「讃岐うどん」と「栗林公園」。そして帰りに土佐町に寄り、早明浦病院に入院している母の見舞と父の墓参りをするのであった。

池上製麺所

まずは、高松市香川町の「池上製麺所」によって腹ごしらえをすることにした。池上製麺所は「るみばあちゃんの店」として、「ズームインSUPER」、「どっちの料理ショー」、「クイズ紳助くん」などTVでたびたび放映された日本一有名なうどん店。以前に、娘がここのうどんを東京にいる家内の妹に送ったところ、とても美味しいと評判が良かったということで、一度は食してみたいと考えていたのである。

池上製麺所に到着したのは10時前であった。普段の日は10時からであるが、連休期間中は9時から営業をしているということであった。いくら評判が高いとはいっても、この時間帯なら余裕で讃岐うどんを腹一杯食べられると思っていた。

店に着いてビックリ。人で溢れていた。5月の大型連休には「讃岐うどん」を食べに全国から人が押し寄せたと聞いていた。しかし、讃岐うどんの人气がこれほど高いとは正直想像もしていなかった。



9時50分に着くと池上製麺所の第1駐車場は満車。ガードマンに第2駐車場に入るように指示されるがここも全国各地からやってきた車で長蛇の列。家内一人が車に乗って駐車できるのを待つ。



娘達はうどんを食べる順番を取るために並んで待つ。約25分待ってようやく「讃岐うどん」を食べることができた。うどんは一人一玉に限定されていた。できるだけ多くの人に召し上がってもらおうという「るみおばあちゃん」の心配りであろう。しかし、10時30分には用意していた玉が全部売り切れてしまったようで、交通整理をしていたガードマンが「玉がなくなりました」と言っていた。全国からわざわざ食べに来ているのにかわいそう。



るみおばあちゃんのうどんは、卵を一個のせて食べる釜玉うどんが通の食べ方のようにあるが、私たちはそれに天ぷらのをせて食べた。

関口宏と三宅裕司が司会をしている「どっちの料理ショー」でサッポロラーメンを負かしただけのことはある。



うどんを食べて外に出ると、「るみおばあさん」こと池上瑠美子さんがベンチに座っており、店から次々に出てくる客と一緒に記念写真を撮っていた。



うどんを食べて外に出ると、土産用として「るみおばあちゃんのさぬき生うどん」が販売されており、面白いように売れていた。

写真の左端に小さく売っている頭にタオルを被っている女性が「るみおばあちゃん」。

栗林公園

百年をかけて完成したと言われる「一步一景」の名園。紫雲山を借景として6つの池と13の築山を巧妙に配した大名庭園で、回遊式庭園の南庭と近代的に整備された準洋式の北庭からなっている。面積は約75ha。

栗林公園は小学校の遠足のとき、そして25年ほど前。子供達がまだ小さい頃に家内の両親連れて家族で来て以来である。

11時に到着すると、国道11号沿いにある東門駐車場は既に満車であったので、北門前駐車場に車を入れて、北門から入場する。



栗林公園の地図。北口から入り、半時計回りに歩いて見学する。園内を1周するとおよそ1時間。



北口の近くにある芝生公園。中央に大きなクスノキが生えている。



栗林公園で最も美しいのが南湖。金沢の兼六園、熊本の水前寺公園などを見たが、栗林公園の南湖が最も好きである。池にはたくさんの大きな錦鯉が泳いでいる。茶店で買った麩(ふ)をやると、飢えたようにかぶりつく。気持ちが悪いくらい食欲旺盛である。



芝生公園を過ぎると西湖。南北に長い池。西側には紫雲山があり、写真後方に少し見える崖は、赤い色をした石壁。赤壁と呼ばれている。



南湖に架かっている偃月橋(えんげつきょう)。三日月(弓張り月)が湖面に姿を映す姿に似ているというのが名前の由来。



吹上亭の茶店でさくら団子を食べる。



南湖を背景に飛来峰で家内とツーショット



飛来峰からの眺望。偃月橋と掬月亭(きくげつてい)が見える。



ピンク色をした芙蓉の花



太鼓橋の偃月橋を渡る娘夫婦。



芙蓉峰で記念撮影。北湖の後方に赤い梅林橋が小さく見える。奥の山が、借景となっている紫雲山。

「讃岐うどん」いろいろ

栗林公園の後は、宇多津町にある「本格的な手打ちうどん おか泉」で「讃岐うどん」を腹一杯食べて高知に帰る予定であった。おか泉も超人気な店である。

午後の2時過ぎに着くと、ここも長蛇の列であった。駐車場で交通整理をしていたガードマンが2~3時間待ちというので諦めることにした。それにしても「讃岐うどん」の人気はすごい。

「おか泉」の近くに、「テレビでおなじみ 美人ちゃんのコシのあるうどん」と書かれた大きな立て看板が目についた。「おか泉」とは違い店の駐車場が空いていた。人気はないとしてもうどんの本場なので味は良いだろうということで店に入った。店内には、私たちと同様に「おか泉」を諦めてやむを得ず空腹を満たすために入った客で、8分入りの状態であった。

讃岐うどんの専門店というよりも、田舎の食堂という感じの店であった。私はきつねうどんを食べたが、うどんにコシはなく、手打ちとはとても思えなかった。近所のスーパーマーケットで売っている安いうどんそのものであった。

空腹を少し我慢して帰りに豊浜サービスエリアで「ぶっかけうどん」を食べるべきであった。

(2009.9.22 記)